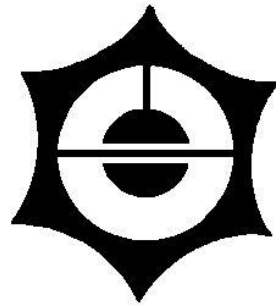


令和元年度

広聴一年

(区民の声)



台東区総務部

広報課

はじめに

台東区では、区民の皆様が生活のなかで感じているご意見を「区民の声」として広くお聞きしています。

区民の皆様からいただいたご意見、要望等につきましては、迅速に回答するとともに、「区民の声」として区政運営の資料として活用させていただいております。

この度「令和元年度広聴一年（区民の声）」を作成しました。この報告書は令和元年度の広聴活動による「区民の声」を集約するとともに区ホームページに掲載するなど区民の皆様や関係機関と情報の共有化を図っております。

令和2年8月

台東区総務部広報課

※この報告書は、台東区公式ホームページ <http://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。

目 次

I 集団広聴

1. 区長と語る会	1
（1）台東区町会連合会・町会役員との語る会	2
（2）台東区町会連合会・女性部との語る会	9
（3）区内活躍団体との語る会	10
（4）台東区立中学校生徒との語る会	11
（5）青年との語る会	11

II 個別広聴

1. 区民の声	12
（1）受付件数	12
（2）課題別分類	14
（3）関係所管別分類	15
（4）処理結果別分類	15

III 調査広聴

1. 台東区民の意識調査	18
（1）調査の概要	18
（2）調査結果の概要	19
2. 区政サポーター制度	26
（1）第1回アンケート調査	27
（2）第2回アンケート調査	28
（3）第3回アンケート調査	29
（4）第4回アンケート調査	30

I 集団広聴

集団広聴は、各種の懇談会に区長が出席して、直接区民の皆様の意見を伺うために実施しています。

語る会で寄せられた、地域で抱える問題や日常生活の中で感じた疑問点、意見、要望などは、区政への貴重な意見として活用しています。

令和元年度 集団広聴実施状況

名 称	対 象	回 数	参加人数
区長と語る会	台東区町会連合会（地区町連）	11回	240名
	台東区町会連合会（女性部）	1回	41名
	区立中学校 （中学生）	1回	12名
	区内活躍団体 （台東区青少年委員）	1回	9名
	青年 （「新成人を祝う会」実行委員会）	1回	8名
合 計		15回	310名

1. 区長と語る会

台東区町会連合会（11地区）と台東区町会連合会女性部、区立中学校、区内活躍団体、青年を対象に15回開催し、延べ、310名の方の出席をいただきました。

語る会は、区政全般に関する意見や要望について、区民の方から直接区長が伺う対話方式で実施し、身近な問題に対する意見・要望等を多数いただきました。

意見・要望等とその回答の要旨は、「令和元年度区長と語る会結果報告書」（平成31年度登録第98号）にまとめました。「令和元年度区長と語る会結果報告書」は、区政情報コーナーや図書館等で閲覧できます。また、台東区公式ホームページ「区民の声」に公開しています。

(1)「台東区町会連合会・町会役員との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
東上野地区	6月 7日(金)	東上野区民館	18名
浅草橋地区	9月 6日(金)	浅草橋区民館	13名
谷中地区	9月 6日(金)	谷中区民館	27名
金杉地区	9月 6日(金)	金杉区民館	14名
入谷地区	9月 9日(月)	入谷区民館	25名
清川地区	9月11日(水)	清川区民館	21名
浅草寿地区	11月 8日(金)	寿区民館	27名
雷門地区	11月11日(月)	雷門区民館	23名
馬道地区	11月11日(月)	馬道区民館	24名
竹町地区	11月12日(火)	台東一丁目区民館	17名
上野地区	11月12日(火)	上野区民館	31名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

東上野地区

◆東上野地区まちづくりについて

4月の東上野地区町連の定例会で、担当課から「東上野四・五丁目地区まちづくり」についての詳しい話を聞きました。その際、旧下谷小学校跡地の問題について各町会長より多くの意見が出ました。

旧下谷小学校跡地は、東上野地区の重要な行事である大運動会の開催場所でもありますので、来年以降はどうなるのか、各町会長が心配しています。

あわせて、道路幅を拡張する話もありましたが、東上野地区の道路は一方通行が多いため、拡張した場合は一方通行は無くなるのでしょうか。また、東上野一、二丁目にまたがる一方通行になっていない狭い道路については、一方通行にしてほしいとも思っています。

運動会や道路の安全対策について、地区全体の問題としてどのように捉えているのかお伺いします。

【回答】

東上野四・五丁目については、様々な活用の仕方を相談させていただき、平成31年3月に地区計画が決定いたしました。

大運動会は皆さまにとって大事な行事ということも認識していますので、今後の開催場所については調整を図りながらご相談をさせていただきたいと思います。また、区画道路については、道路の幅員を広げるということが地区計画を進めるうえで重要になってきますので、区としても、道路の安全・安心がしっかりと図られるよう整備をしていきたいと考えています。

東上野一、二丁目にまたがる道路の問題については上野警察署ともよく相談をしております。今後も、いろいろとご相談をさせていただき、地域の皆さまの利便性や道路の安全性等の観点も含めて、進めてまいります。

※令和元年6月、上野警察署との協議内容を会長に説明しました。(地域整備第一課)

浅草橋地区

◆福井町通りのマロニエの樹について

今年も「浅草橋紅白マロニエまつり」が開催され、12回目を迎えました。幸い天候も良かったので、見学者も多く賑わいました。ただ、毎年楽しみにしながら観察している福井町通りのマロニエの樹には、白い花が一つ二つ咲くくらいで、緑の葉を眺めるばかりです。

既に植樹して十数年経ちますが、左衛門橋通りのマロニエの樹は、見事に紅の花を咲かせていますが、福井町通りのマロニエの樹は、陽当たりが悪いせいか、寂しい限りです。これでは「浅草橋紅白マロニエまつり」の冠が泣くのではないのでしょうか。樹木に栄養剤を投入して、活力を与えていただけないでしょうか。あるいは、何か良い方法があればお願いしたいと思います。

【回答】

「浅草橋紅白マロニエまつり」も、今年で12回目を迎えたということで、このような素晴らしい行事を継続して実施していただいている地域の皆さまには深く感謝しています。

福井町通りのマロニエの樹については、担当も一生懸命やっていますが、大きな効果は出ていないという状況です。

今後、樹木の専門家である樹木医への相談や、他自治体の管理状況を確認するなどして、「浅草橋紅白マロニエまつり」という名称のとおり、紅白できれいに咲くよう頑張ってみます。

谷中地区

◆J R 鶯谷駅北口におけるエスカレーター設置について

鶯谷駅北口にはエレベーターも何もありません。

最近では、大きなトランクを持った海外の方などを多く見かけます。これからも更に増えると思うので、皆が使いやすい駅となるように、鶯谷駅北口のエスカレーター等の設置について、J Rへ働きかけをお願いします。

【回答】

鶯谷駅北口周辺は「書道博物館」や「子規庵」など歴史ある文化資源を持つ地域です。

区としても、地域にお住まいの方や観光客など、利用される皆さまの利便性向上のためにも、鶯谷駅北口のバリアフリー化は重要であると認識しており、これまでもJ Rに対しては要望をしています。また、北口への人員配置も必要であると考えていますので、区としても、北口のバリアフリー化と人員配置に向けて、引き続きJ Rに要望してまいります。

※町会の要望内容と区の回答状況についてJ Rと共有し、検討を申し入れました。(計画調整課)



金杉地区

◆町会役員の減少について

町会役員が減少しており、困っています。お祭りの寄付も役員は多めに納めることもあり、役員を勧めることも難しい状況です。

区で負担できるものは負担していただいて、町会員の負担が少なく気軽に町会員になれるようなPRが出来ると思います。

町会費の問題や、高齢の役員が一生懸命やらないとお祭りやコミュニティーが成り立たないことについて、解決することは難しいと思いますが、区で具体的な案がありましたら教えていただきたいです。

【回答】

町会の活性化のためにも、新しく転入されてきた方には町会に加入していただきたいので、加入促進のための様々な取り組みを行っています。

町会活動がなければ、台東区の活性化は無いと思っていますので、皆さまからご意見やご提案をいただき、いろいろな方法を区も一緒になって考えていきたいと思っています。



入谷地区

◆こども110番について

「こども110番」は良い制度だと思っています。しかし、ステッカーが古くなっていたり、分かりづらいところに貼られていたりするので、子供たちがすぐに気付くところに貼っておく必要があると思います。

そこで、ステッカーを台東区独自のものを作るなどして分かりやすくしたり、町会等にも積極的に声をかけるなどして「こども110番」制度に協力していただける方を更に増やしたほうが良いと思います。ステッカーが貼られている場所が増えることで子供たちは安心できると思います。また、目立つところに貼ることで、協力する方たちも子供たちを守るということを認識できたり、加害者への抑止力にもなると思います。

【回答】

町会や商店など、地域の方でご協力をいただいている方には、「こども110番」のステッカーを貼っていただいています。

ステッカーを目立つところに貼ることによって、子供たちが緊急時に避難できる場所が分かったり、加害者への抑止力にもつながってくると思います。

また、子供たちには「こども110番」のマップを配布し、緊急時の避難場所の確認や安全教育等を行っています。さらに徹底していくよう担当に伝えます。

子供たちの安全・安心を守るためには、区と教育委員会と地域が一体となって見守っていくことが大事ですので、ご協力をお願いします。

清川地区

◆歩道の草取りについて

歩道の植栽の剪定や雑草取りは年2回ほど定期的に行っていただいています。しかし、植栽以外の部分やガードレールの下、インターロッキングの隙間の雑草等は刈らないので、雑草が伸び放題です。

年2回の剪定の時に一緒に処理することはできないでしょうか。

また、区民が自宅前の歩道部分について草刈りをしてもらいたいとは思いますが、その際には、区民への啓発と軍手やゴミ袋等の配布をすることはできないでしょうか。

【回答】

歩道の植栽については、年2回ほど剪定や雑草取りを行っています。

植栽以外の部分についても、気づいた場合には対応していますが、歩道にある細かい雑草まで対応するというのは難しいため、地域にお住まいの皆さまにご協力をいただけるとありがたいです。

区で行っている「大江戸清掃隊」は、現在、町会や老人クラブ、事業者、商店街等330以上の団体に登録をしていただき、たくさんの方にご協力をいただいています。

「大江戸清掃隊」に登録していただくと、活動時の清掃用具のお渡しができますので、担当から会長に連絡するよう伝えます。

また、根が強い雑草などもありますので、その場合は土木課まで連絡をいただければ、すぐに対応いたします。

※令和元年10月、会長に「大江戸清掃隊」の制度等について説明しました。（環境課）



浅草寿地区

◆専用道の利用マナーについて

自転車専用道が設置されてから数年経ちますが、利用におけるマナーの悪さについて危惧しています。

例えば、自転車専用道があるにも関わらず、自転車が歩行者専用道を通行するケースが多く見られ、歩行者と接触事故を起こす危険性が生じています。また、逆に、歩行者が自転車専用道内を歩行したり、住民の出したゴミにより自転車の通行に支障をきたしている場合もあります。

専用道の明確な区分表示や、利用ルールについての徹底した周知・指導などを、警察等の関係機関と連携し、区として対応をしていただきたいです。

【回答】

区では、自転車利用のルールやマナーの普及・啓発に取り組んでいますが、さらに徹底するよう努めてまいります。また、「自転車ナビマーク・ナビライン」上の車の駐停車については、警察と連携して対応してまいります。

自転車は、被害者になると同時に加害者になってしまう場合もありますので、区では自転車向け保険「TSマーク」の取得を促進しており、取得費用の助成を行っています。

これまで、助成手続きは区役所のみでしたが、まもなく区民事務所でも手続きが可能となります。

今後も、警察や関係機関と連携し、自転車及び歩行者の安全かつ快適な交通環境の整備に努めてまいります。

※令和2年1月6日から、自転車向け保険「TSマーク」の取得費用の助成手続きが各区民事務所及び各分室でも可能となりました。(交通対策課)

雷門地区

◆空き家、空きビル、空き店舗対策について

近年、空き家、空きビル、空き店舗が多くみられ、火災の危険・防犯上の問題があります。また、景観も悪く商業地としても良くないと感じています。自治体として、所有者に交渉や指導をしていただきたいです。

「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行されていますが、自治体の強制が必要ではないでしょうか。

【回答】

建物の維持管理は、建物所有者等が行う義務があります。

区では、火災や倒壊の危険性が高い老朽空き家について「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、関係機関からの情報提供等により所有者を特定し、その所有者に対して建物の適正な維持管理や建物を除却する場合の費用助成制度等の案内をしています。また、所有者がいない場合には、法的に除却をすることも可能となっていますが、所有者の特定には時間がかかります。

担当を伺わせますので、危険な建物等がありましたらご相談いただきたいと思っております。

※会長に状況を確認し、空き家所有者を特定して建物の改善通知を送付しました。(建築課)

馬道地区

◆東京オリンピック 2020 に向けて

いよいよ来年は、東京オリンピックが開催されます。台東区でも、より多くの観光客でにぎわうことと思います。

そこで、多くの観光客へのおもてなしとして、区ではどのようなことを計画されているのでしょうか。

また、残念ながらマラソンが札幌での開催に決まってしまいましたが、東京開催の場合に備えて、十分な熱中症対策は検討されていたのでしょうか。

【回答】

残念ながら、オリンピックのマラソン競技会場が札幌に変更となってしまいましたが、区では、東京2020大会の開催に向けて、台東区全域を花の心でおもてなししようと、並木通りに「おもてなしの庭」を整備し、来年も予定通りあさがおの花で飾りたいと考えています。大会開催時には、さらに多くの来街者が訪れることが予想されていますので、引き続き微細ミストなどの熱中症対策や、バリアフリー化にも取り組んでまいります。

今後も、東京2020大会に向けて様々な取り組みを進めてまいります。

※令和2年3月24日、東京2020大会は、概ね1年を軸として2021年の夏までに開催することで、IOC理事会の承認を得ている状況です。(東京オリンピック・パラリンピック担当)

竹町地区

◆防犯カメラの補助について

来年度の防犯カメラの設置に関する補助の受付が9月上旬で終わってしまいましたが、オリンピック後に設置する場合は、区と東京都の補助が続くのか教えていただきたいです。

当町会は6か所設置する予定を4か所に絞ったため、あと2～3か所は増やしたいと考えています。

また、新規に設置する防犯カメラの補助の割合が11/12から5/6になってしまいましたが、防犯カメラにかかる電気料等の維持費は補助いただいているので、ありがたいと思っています。

【回答】

防犯カメラは犯罪の抑止力や町の安全・安心にもつながりますので、町会の皆さまにはご協力いただき感謝しています。

また、子供の安全・安心を守るため、通学路にも防犯カメラを設置しています。

東京 2020 大会後に補助が終わってしまうということがないように、台東区だけではなく区長会でも、東京都に対して補助を続けるように要望していますし、維持管理費の負担軽減についても強く要望しています。



上野地区

◆街路灯整備について

動物園通りの街路灯が新しくなりましたが、一歩住宅地に入ると暗く、古い街路灯が設置されています。

街路灯の交換は蛍光灯が切れてからなのか、それとも設置年数が経ってからなのか教えてほしいです。

【回答】

動物園通り西側の区街路灯においては、昨年度、LED化の整備を行いました。

現在、区道部分の街路灯についてはLED化整備を進めています。

お話しの方の街路灯は、私道上にある町会管理の私有灯となります。私道上にある私有灯のLED化にかかる工事費用については、区が費用を全額助成しています。また、LED化されれば、現在より照度も増し、維持費用もこれまでの1/2程度と安価になります。

担当の土木課から会長に連絡するよう伝えますので、ご相談いただきたいと思います。

※令和元年12月に会長より私有灯5基分のLED化工事の申請を受け、令和2年3月中旬に工事が完了し、町会に引き渡しをさせていただきました。(土木課)



(2)「台東区町会連合会・女性部との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
女 性 部	11月15日(金)	区役所1001会議室	41名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

◆町会用掲示板的サイズとポスター用紙のサイズについて

区役所や警察、消防などの行政からのポスターを掲示板に貼る場合、近年その数が多くサイズもまちまちで、掲示板からはみ出したり、見た目を整えて貼るのが難しいことが多いです。

整然と貼られていると、通りすがりでも「あれっ！みてみようかな」と興味を呼びおこすきかけともなり得ます。

よって、掲示板の面を広くし、ポスターサイズの統一をお願いしたいです。

また、年間を通して発行枚数が多いとも感じています。

【回答】

区のイベントやお知らせを広報する方法としては、ホームページや広報「たいとう」などがありますが、町会掲示板は地域の身近な場所に設置してありますので、掲示板も非常に広報効果があると思っています。

ポスターの枚数が多くて掲示板に貼りきれないというご意見もたくさんいただいていたので、現在はポスターサイズをB3以下となるようお願いをしています。

今後も、町会掲示板のサイズや使い方については、いろいろと検討してまいります。

◆西町公園の樹木への名札（樹名板）について

西町公園に、平日は大勢の保育園児や幼稚園児、永寿病院の入院患者、サラリーマン、地元の方々が、憩いを求めて訪れています。通りがかりに「この木は、何の木、きれいな花が咲いているけど分からないね。」と、そんな会話を耳にしましたので、区で取り組んでいる「花の心プロジェクト」の一環として、樹名板の設置をご検討いただきたいと思います。

【回答】

樹木の名前や花の名前が分かると、子供たちも興味を持ちますのでとても良いことだと思いますし、「花の心プロジェクト」を推進するうえでも大変重要なことだと思っています。

現在、西町公園にある木の種類は全部で31種類あり、既に8種類の木には樹名板を設置しています。まだ樹名板を設置していない種類の木についても、早速、樹名板を設置してまいります。

※令和2年3月、西町公園の樹木に樹名板を設置しました。(公園課)

(3) 「区内活躍団体との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
台東区青少年委員	9月25日(水)	区役所庁議室	9名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

◆2020年以降の宿泊施設について

2020年に向けてホテルや民泊が増えており、ホテルもたくさん建ってきています。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会後には、それらの建物が無駄になってしまったりする恐れはないのでしょうか。また、災害が起きた場合に、空いている建物等を有効に活用することはできないのでしょうか。

【回答】

国では、訪日外国人数の目標を2020年には4,000万人、2030年には6,000万人としています。現在、台東区のホテル数は約600棟で数年前と比べると倍ぐらいになっていますので、台東区を訪れる観光客数も引き続き増えることが予想されます。

住宅宿泊事業いわゆる民泊については厳しい内容の条例を作りましたので苦情は減少していると思います。民泊に関することでお困りのことがありましたら、区にご連絡いただければ対応します。

まちの安全・安心は区の重要施策であると考えていますので、観光客の増加を踏まえた災害対策についても取り組みを進めてまいります。

◆生涯大学について

千葉県に住む友人が生涯大学に通っていると話してくれました。60歳以上の方に入学資格があるそうです。台東区にもこのような大学があったら通ってみたいと思いました。新しいことを勉強したり仲間をつくって、これからの人生を充実したものにしていきたいです。そして、卒業した後は、大学で学んだ知識や技術を生かして、台東区や社会のために貢献したいと思っています。

学ぶことはいくつになっても素晴らしいことなので、このような学びの場があれば良いと思います。

【回答】

台東区に生涯大学はありませんが、区では生涯学習を目的とした様々な講座を実施しており、シニア世代を対象とした講座もあります。「シニアライフ応援計画実行委員会」では、シニア世代の方が、これまでの知識や経験を活かしながら、講座の企画から運営までを行ったり、地域で新たな仲間を作っていただいたりもしています。

もし、興味がありましたら担当の生涯学習課に連絡をいただければ、詳細をご説明いたします。

今後も、シニア世代の方々が大いに活躍していただけるように、取り組んでまいります。

(4)「台東区立中学校生徒との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
中学生	10月20日(日)	区役所庁議室	12名

テーマ：「こんな台東区になってほしい！私が考える「未来の台東区」」

各区立中学校の代表が、テーマについての自分の考えを発表しました。中学生からの区へのご意見やご提案などをお聴きしました。

※詳細につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。



(5)「青年との語る会」

対 象	開 催 日	会 場	参加人数
「新成人を祝う会」実行委員会	11月20日(水)	区役所庁議室	8名

※以下は語る会でのご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

その他のご意見につきましては、ホームページならびに報告書をご覧ください。

◆ジェンダーについて

近年、世界中でLGBTを中心にジェンダーへの関心が深まっていると思います。国としてはまだ同性婚を認める法律はありませんが、渋谷区などでは「同性パートナーシップ証明書」を発行し、より様々な人が暮らしやすくなっているのではと感じています。

台東区では、ジェンダーに関する取り組みとして「台東区男女平等推進基本条例」が制定されていますが、この他に、現在ジェンダーについて取り組まれていることなどがあれば、教えていただきたいです。

【回答】

「台東区男女平等推進基本条例」を制定したことなども勉強していただき、ありがとうございます。

区では、生涯学習センター内にある「男女平等推進プラザ」が拠点となり、男女平等を推進するための様々な施策を進めています。

具体的には「男女平等推進フォーラム」の開催や、男性の育児参加を目的とした講座の実施、ワーク・ライフ・バランス実現のための支援など、様々な取り組みを実施しています。また、多様な性の在り方への理解を広めるため、講演会の実施やカウンセラーによる相談業務も実施しています。

これからも、性別に関わりなく一人ひとりが個人として尊重され、自分らしく生きていける社会の実現を目指して、取り組んでまいります。

Ⅱ 個別広聴

1. 区民の声

区や区政に対する意見や提案等を専用はがきや、窓口、電話のほか、台東区ホームページからも受け付けています。

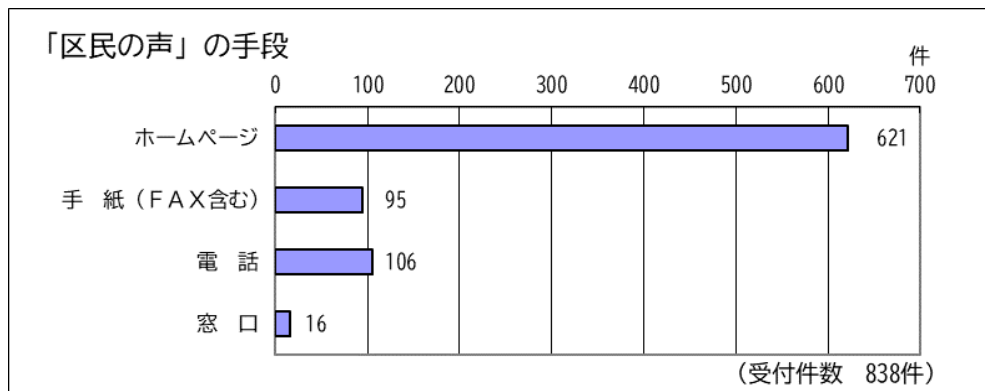
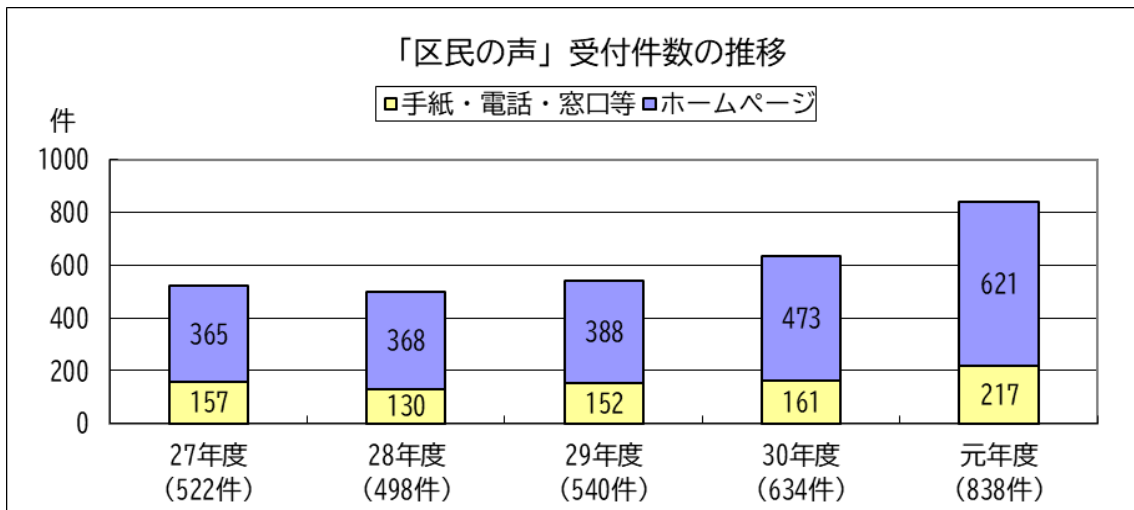
また、寄せられた意見等とその回答の要旨の一部を台東区公式ホームページ「区民の声」に公開しています。

(1) 受付件数（1件の受付件数で複数意見もあるため、意見数を延件数とする）

区民の声	受付件数	延件数
区長への手紙（手紙・窓口・電話等）	217件	235件
区長への手紙（ホームページ）	621件	636件
計	838件	871件

受付件数は838件で、前年度の634件より204件の増となりました。また、施策別、所管別など延件数は871件で、前年度の656件より215件の増となりました。

「区民の声」の手段では、ホームページからの意見が621件で、受付件数全体の約74%を占めています。

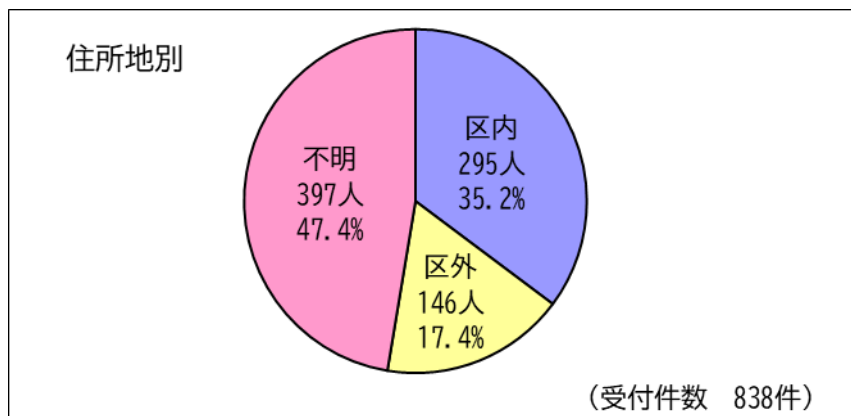
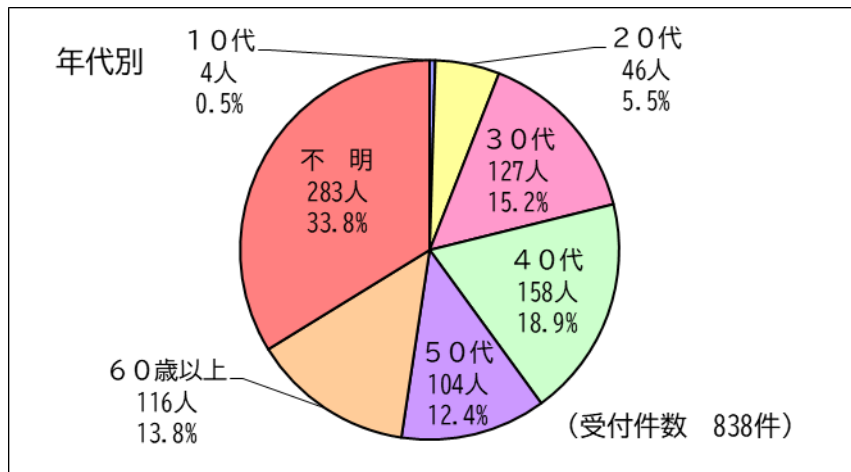
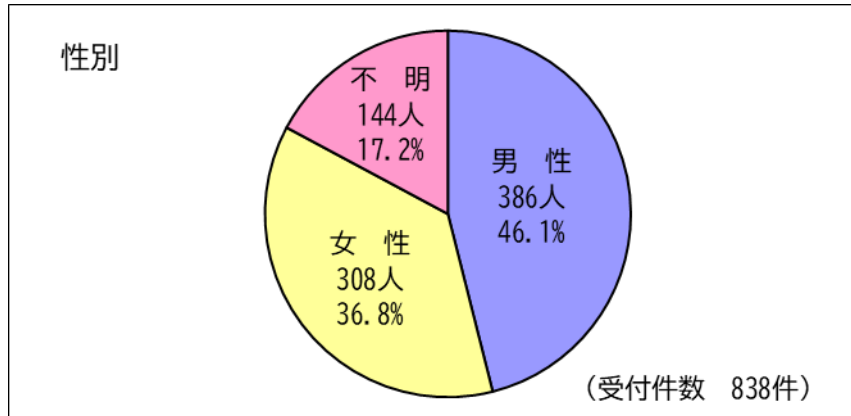


① 性別 ・ 年代別 ・ 住所地別

性別では、男性からの意見が多く、女性の約1.3倍となりました。

年代別では、30代、40代の方で全体の約34%を占めました。

また、住所地別では、全体の35%以上が区内の方からの意見でしたが、区外の方からの意見も約17%ありました。



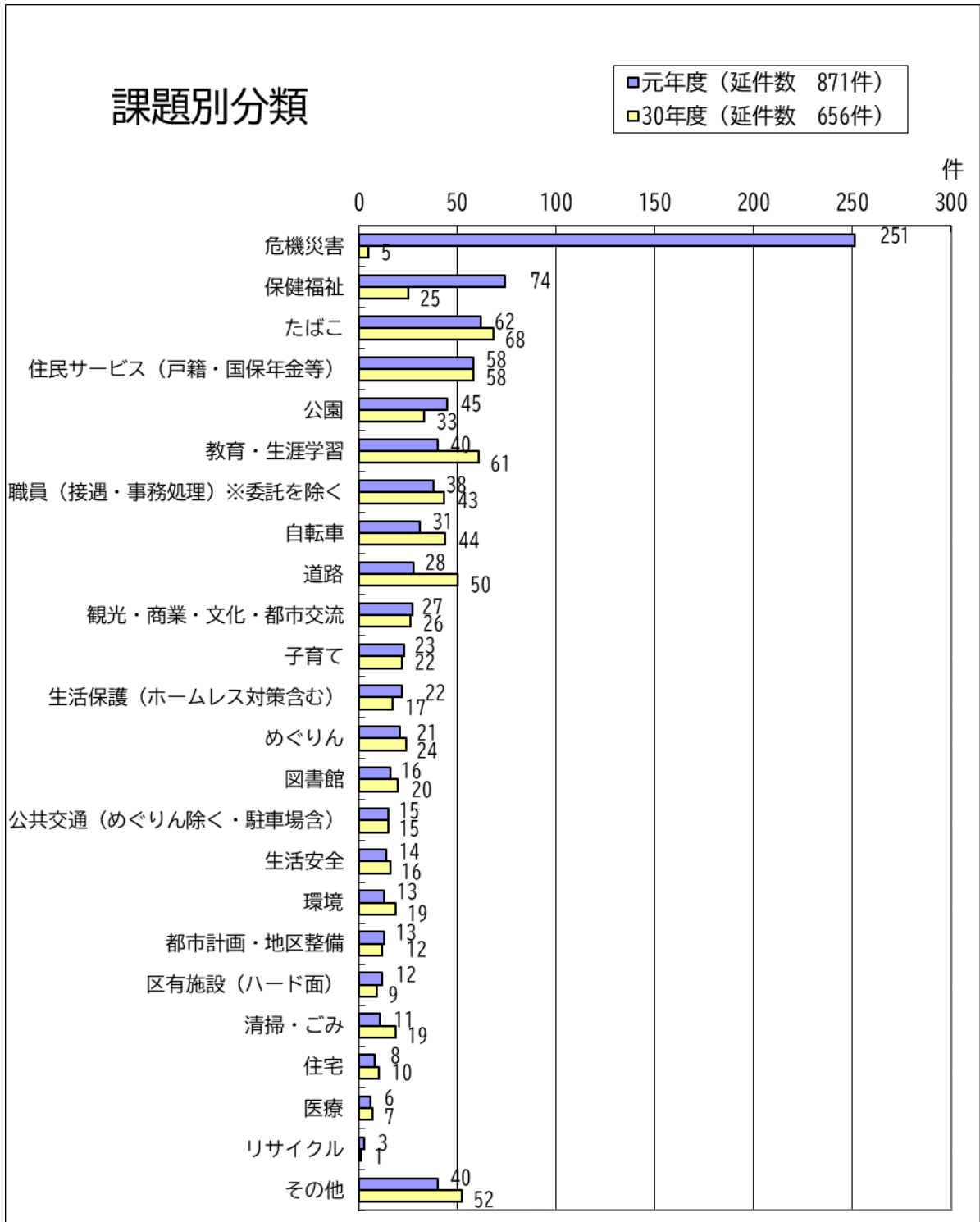
(2) 課題別分類

「区民の声」871件（延件数）の内の課題別意見です。

令和元年度は、【危機災害】と【保健福祉】に関する意見を多くいただきました。

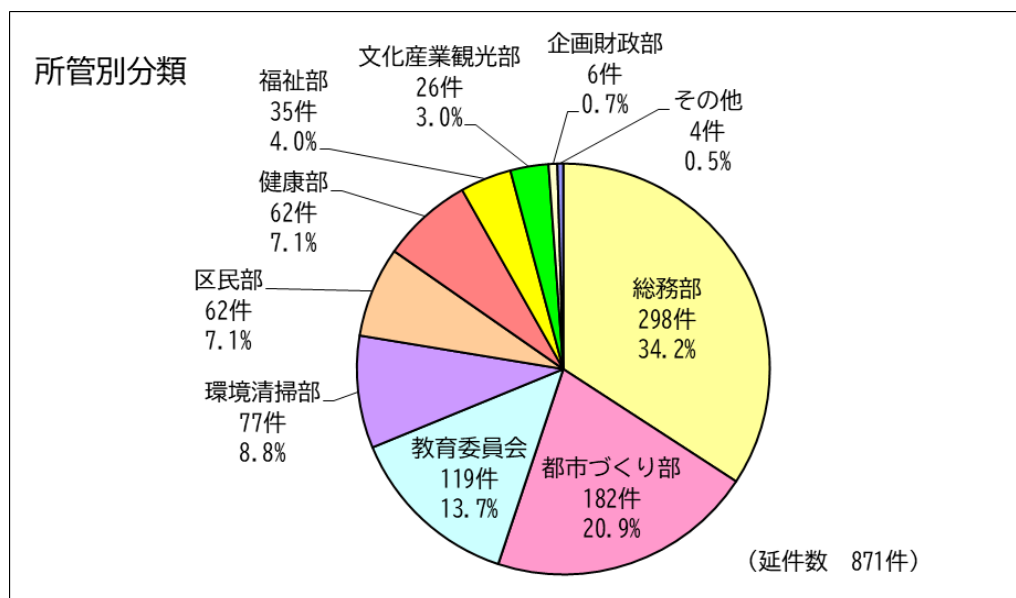
【危機災害】に関する意見の多くは、台風対応等の災害対策に関するものでした。

【保健福祉】に関する意見の多くは、新型コロナウイルス感染症に関するものでした。



(3) 関係所管別分類

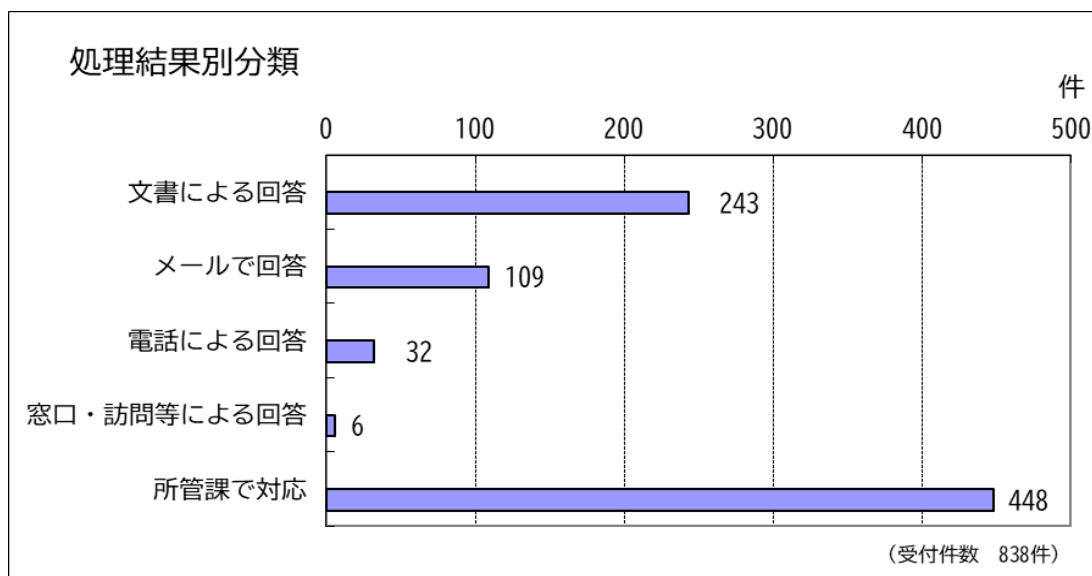
関係所管別に見ると、総務部と都市づくり部で全体の約55%を占めました。総務部では、災害対策へのご意見が多く、都市づくり部では自転車問題や循環バスめぐりんへのご意見が多くなりました。また、教育委員会へのご意見も多く、教育への関心の高さもうかがうことができます。



(4) 処理結果別分類

受付件数のうち、文書で回答243件、メールで回答109件、電話で回答32件、その他、窓口や直接訪問し説明を行ったもの等が6件でした。匿名や住所等が不明な方には回答できず、所管課にて対応した件数が448件でした。

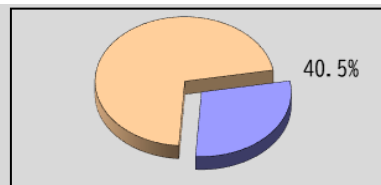
いただいたご意見の4割以上について、文書・メール・電話・その他（窓口・訪問等）の方法で回答しました。また、匿名等のご意見についても、必要なものは調査をし、貴重なご意見として区政に活用させていただきました。



以下は、「区長への手紙」に寄せられたご意見とそれに対する回答の要旨の一例です。

まちづくり・住まい・災害対策 【353件 / 871件】

(危機災害、生活安全、生活保護、都市計画・地区整備、公園、住宅)



◆公園内球技禁止について

園内球技禁止の横断幕が掲げられているにもかかわらず、サッカーや野球等の球技をしている子供が多くいる公園では、子供を安全に遊ばせることが出来ません。17時以降は見回りもないため、公園内は無法地帯になっています。

何か問題が起こる前に、対処をしていただけないでしょうか。

【回答】

公園内での球技は、面積が狭小であることや、幼児から高齢者までの多くの方が、様々な利用をされているため、安全確保の観点から、幼児のゴム、ビニール製などのボール遊びを除き、原則禁止としております。

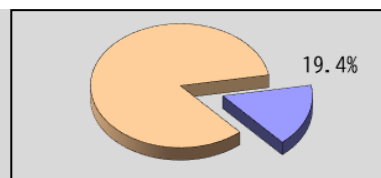
球技が出来る場所として、東盛公園、玉姫公園、山伏公園、金杉公園、花川戸公園、天王寺公園、橋場公園の7か所の公園に、スポーツコーナーを設置しております。また、利用促進のためスポーツコーナーのルールづくりを進めているところです。

マナー違反の利用者に対しては、球技禁止看板の掲出とともに、24時間巡回警備員による注意・指導にて、マナー違反の抑止を図っております。一部の公園では、17時以降の時間帯に重点的に巡回し、注意・指導を強化してまいります。

今後も皆様が公園を安心してご利用いただけるよう、努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

環境・リサイクル・保健福祉 【169件 / 871件】

(清掃・ごみ、リサイクル、環境、たばこ、福祉・医療)



◆資源の持ち去りについて

集積場に出された資源を区が回収する前に、無断で持って行ってしまうことに対して、区として対策を取って欲しいです。

【回答】

資源回収の日に、持ち去りをする人がいることは、区でも課題として認識をしています。

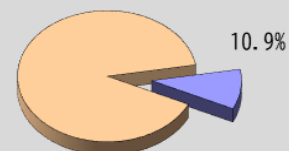
集積所における持ち去り行為への対応として、資源回収日の早朝5時30分から7時30分までの時間帯に「資源パトロール」を実施しております。また、区民の皆様には、資源を前日ではなく、回収日当日の朝8時までに出していただくことで、留置時間の短縮にご協力をお願いしております。

さらに、各町会や集合住宅などに自主的な資源回収を行っていただく「集団回収」を区では推奨しております。「集団回収」は、回収した資源が活動団体の所有物であることを明示して、回収業者に直接引渡すことができるため、持ち去りに対して有効な手段となっております。

今後も、より一層適切な資源回収に努めてまいりますので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

交通・自転車・駐車場 【95件 / 871件】

(めぐりん、公共交通、道路、自転車)



◆自転車の右側走行について

自転車の右側走行をよく見かけます。歩道でも自転車に乗ったまま右側走行をしたり、曲がり角で一時停止せず、ぶつかりそうになることがよくあります。

こちらがどんなにルールを守り、気を付けていても、危険にさらされてしまうため、歩行者、自転車、自動車のルールの周知徹底をして欲しいです。

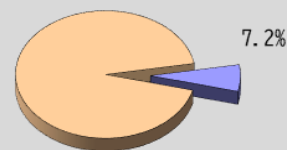
【回答】

自転車の走行ルールについて、区では「東京都台東区自転車安全利用促進条例」に基づき、車道の左側を通行することや、歩道の通行が認められている場合でも歩行者が優先であること等、自転車利用の基礎的ルールである自転車安全利用五則の普及を、講習会や広報たいとう等を通じて積極的に進めています。

今後も、警察等と連携を図りながら、自転車のルール・マナーの普及啓発に努めてまいります。

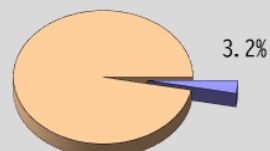
教育・保育 【63件 / 871件】

(子育て、教育・生涯学習)



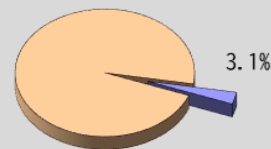
区民館・図書館などの区民施設 【28件 / 871件】

(区有施設、図書館)



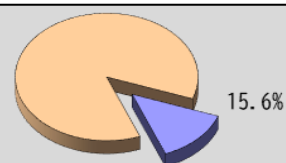
観光・産業 【27件 / 871件】

(観光・商業・文化・都市交流)



その他 【136件 / 871件】

(住民サービス、職員、その他)



Ⅲ 調査広聴

区では、調査広聴として、「台東区民の意識調査」（奇数年に実施）や「区民サポーター制度」を実施し、区民の意見や要望などの区政への意向の把握に努めております。

1. 台東区民の意識調査

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

区政の各分野における、区民の意向・要望および区民の生活意識等を把握し、今後の区政運営に反映させるための参考資料とする。

2. 調査の設計

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査地域 | 台東区全域 |
| (2) 調査対象 | 台東区在住の満 18 歳以上の男女個人 |
| (3) 標本数 | 2,000 人 |
| (4) 抽出方法 | 無作為抽出法 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布—郵送回収法（一部訪問回収）
（訪問回収にあたっては、区職員が 300 件を回収） |
| (6) 調査期間 | 令和元年 7 月 8 日（月）～ 7 月 29 日（月） |
| (7) 調査実施機関 | 株式会社 都市計画 2 1 |

3. 調査内容

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| (1) 定住性 | (10) 成人式 |
| (2) 生活安全 | (11) かかりつけ医・歯科医・薬剤師（薬局） |
| (3) 災害対策 | (12) 食品ロスの削減 |
| (4) 観光振興 | (13) 平和事業 |
| (5) スポーツ活動 | (14) 人権・男女共同参画社会 |
| (6) 生涯学習 | (15) 広報 |
| (7) 協働による地域力の向上 | (16) 区議会 |
| (8) 福祉のまちづくり | (17) ケーブルテレビ |
| (9) まちづくり | (18) 区政への関心と要望 |

4. 回収結果

- | | |
|-------------|----------|
| (1) 標本数 | 2,000 標本 |
| (2) 有効回収標本数 | 1,176 標本 |
| (3) 有効回収率 | 58.8% |
| (4) 回収不能標本数 | 824 標本 |

(2) 調査結果の概要

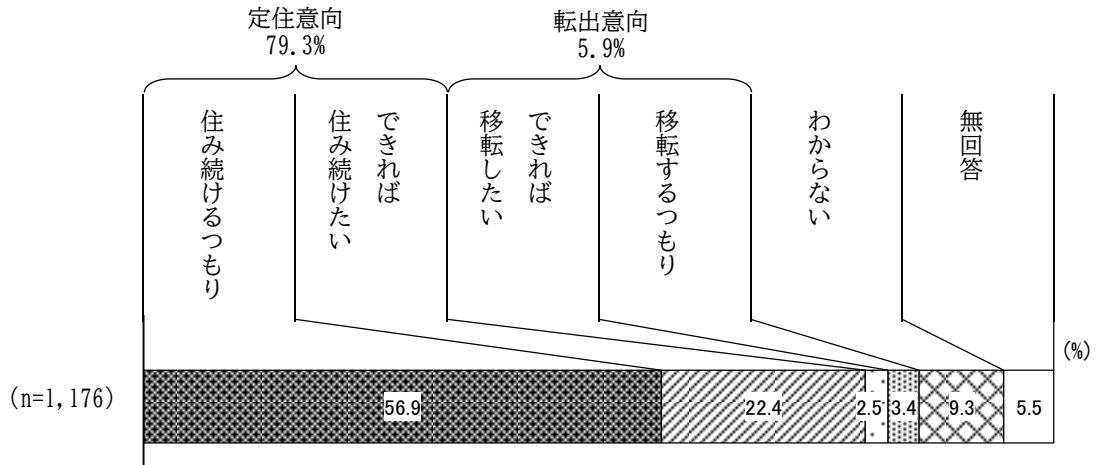
調査結果の一部を掲載します。なお、「令和元年度台東区民の意識調査報告書」は、区政情報コーナーや図書館等で閲覧することができるほか、台東区公式ホームページ「区民の声」で公開しています。

1. 定住性

1-2 定住・転出意向

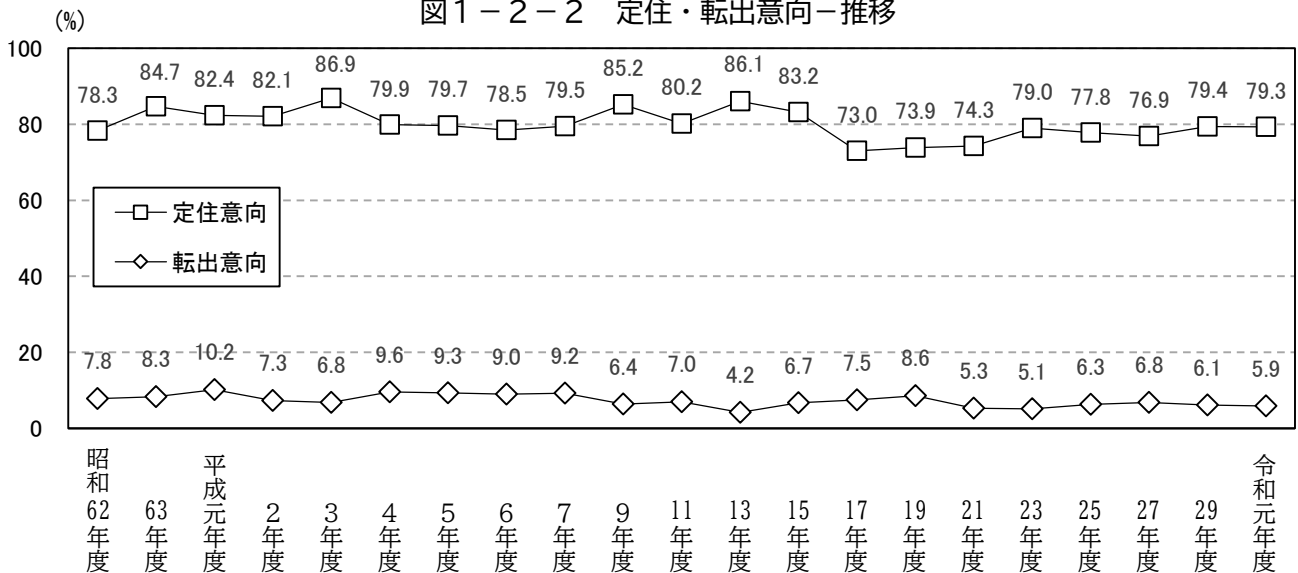
問2 これからも引き続いて、台東区にお住まいになりますか。(○は1つだけ)

図1-2-1



定住・転出意向は、「住み続けるつもり」(56.9%)が6割近くで最も多く、次いで「できれば住み続けたい」(22.4%)が2割を超えている。「住み続けるつもり」と「できれば住み続けたい」を合わせた『定住意向』(79.3%)はほぼ8割となっている。一方、「できれば移転したい」(2.5%)と「移転するつもり」(3.4%)を合わせた『転出意向』は5.9%である。(図1-2-1)

図1-2-2 定住・転出意向-推移



定住・転出意向の推移をみると、「住み続けるつもり」と「できれば住み続けたい」を合わせた『定住意向』は平成23年度以降、7割台後半で推移しており、今回調査では平成29年度より0.1ポイント低くなっている。一方、「できれば移転したい」と「移転するつもり」を合わせた『転出意向』は今回調査では平成29年度から0.2ポイント低くなっている。(図1-2-2)

2. 生活安全

今回の調査では、日常生活での治安の状況等のほかに重点をおくべき防犯対策についてお伺いしました。

日常生活での治安状況について、「不安を感じない」と回答している方が60.0%となっており、前回調査の52.3%から7.7ポイント増加しています。一方、「不安を感じる」と回答している方は38.8%で、前回調査と比較すると7.9ポイント減少しています。区内の犯罪認知件数も減少傾向が続き、治安状況の改善が進んでいますが、区内で子供に対する声かけ事案や還付金詐欺等の被害が依然として発生しています。

今回の調査結果を参考に、警察等関係機関との連携を強化し、区民の皆様の防犯活動への参加・協力をいただきながら、治安の向上に努めてまいります。

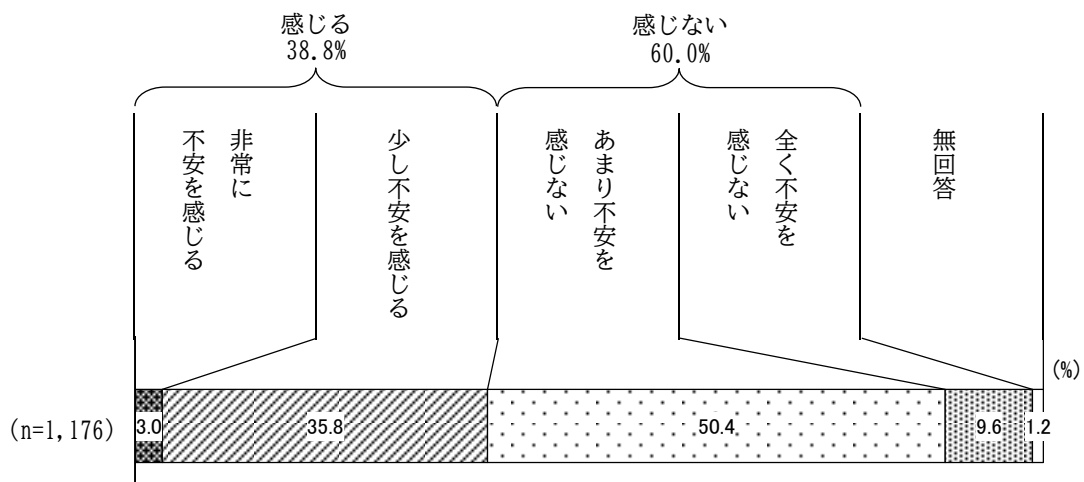
危機管理室 生活安全推進課

2-1 日常生活での治安の状況

問3 日常生活において、犯罪に巻き込まれそうな不安を感じていますか。

(○は1つだけ)

図2-1-1

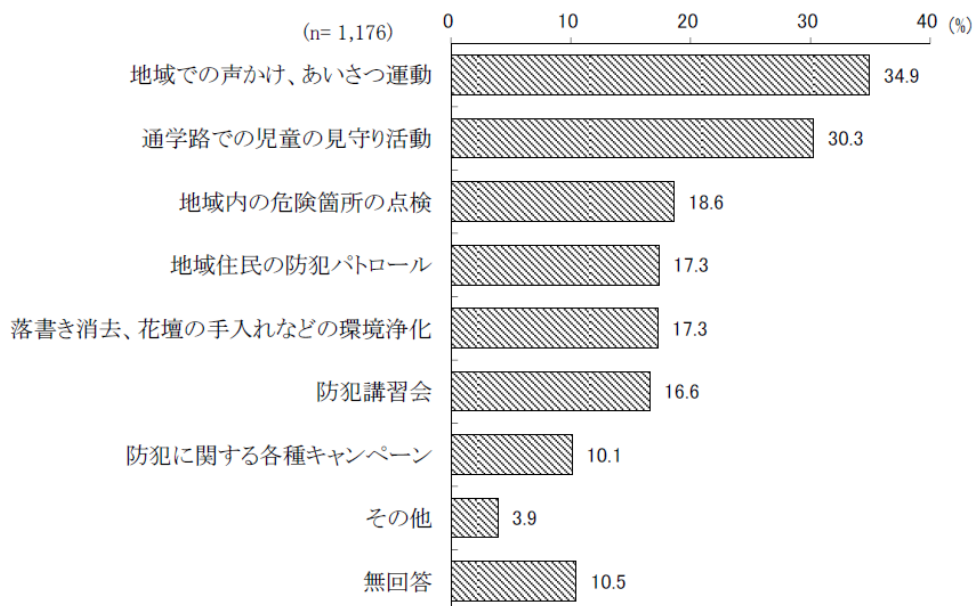


日常生活での治安の状況については、「あまり不安を感じない」(50.4%)が5割と最も多く、「全く不安を感じない」(9.6%)と合わせた『感じない』(60.0%)が6割となっている。一方、「非常に不安を感じる」(3.0%)と「少し不安を感じる」(35.8%)を合わせた『感じる』(38.8%)は4割近くとなっている。(図2-1-1)

2-3 参加したい防犯活動

問5 防犯活動であなたが参加するとしたら、次のどの活動ですか。(〇はいくつでも)

図2-3-1

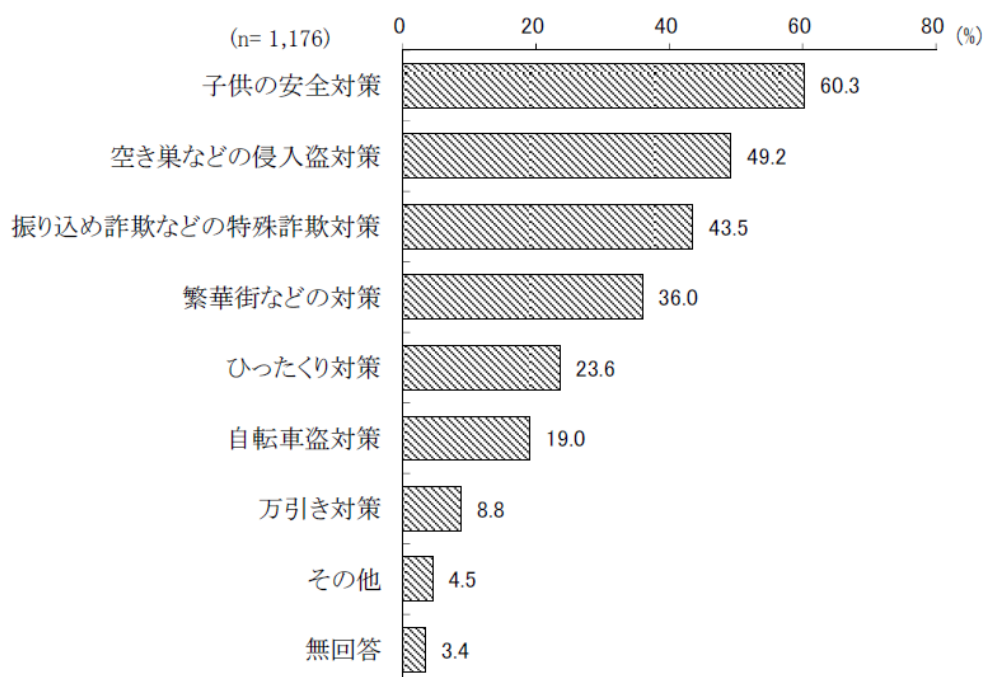


参加したい防犯活動は、「地域での声かけ、あいさつ運動」(34.9%)が3割半ばで最も多く、次いで「通学路での児童の見守り活動」(30.3%)、「地域内の危険箇所の点検」(18.6%)、「地域住民の防犯パトロール」(17.3%)、「落書き消去、花壇の手入れなどの環境浄化」(17.3%)、「防犯講習会」(16.6%)となっている。(図2-3-1)

2-4 重点をおくべき防犯対策

問6 区や警察など行政機関が行う防犯対策で、重点をおくべきだと思うものはどれですか。(〇はいくつでも)

図2-4-1



行政機関が行う防犯対策で重点をおくべきものを聞いたところ、「子供の安全対策」(60.3%)が6割で最も多く、次いで「空き巣などの侵入盗対策」(49.2%)、「振り込め詐欺などの特殊詐欺対策」(43.5%)、「繁華街などの対策」(36.0%)、「ひったくり対策」(23.6%)、「自転車盗対策」(19.0%)となっている。(図2-4-1)

2-5 生活安全や防犯に対する取り組みについての意見や提案

問7 生活安全や防犯に対する取り組みについて、ご意見やご提案がありましたら、ご記入ください。

(代表的な意見)

【地域の防犯活動について】

- ・マンションなどの集合住宅が増えた為か、隣近所とのつき合いが少なくなり、近所に誰が住んでいるのか分からない状態です。地域での声かけを地道に行っていく必要があると思います。
- ・放課後の通学路の見守りを、近所の方とも協力してやってみてはどうか。

【防犯パトロールについて】

- ・地域の防犯パトロールや警察による自転車での巡回を強化してほしい。
- ・朝の通勤通学の時間帯や夕方に入通りの多くなる場所こそ、警察のパトロールを強化してほしいです。制服を着て立っているだけでも防犯になります。

【防犯カメラの設置について】

- ・防犯カメラの活躍が著しい。区として、商業地域だけでなく一般街区にも計画的に設置を考えたらどうか。
- ・人通りの少ない所に防犯カメラを設置してほしい。

【情報提供について】

- ・不審を感じた時、連絡する場所(警察署や区役所)を表示した貼紙等が街の至る所に表示してあると、犯罪発生の防止になると思う。
- ・防犯について、どのような取り組みが行われているか、目立つ形で広報活動を行ってほしいです。

【その他】

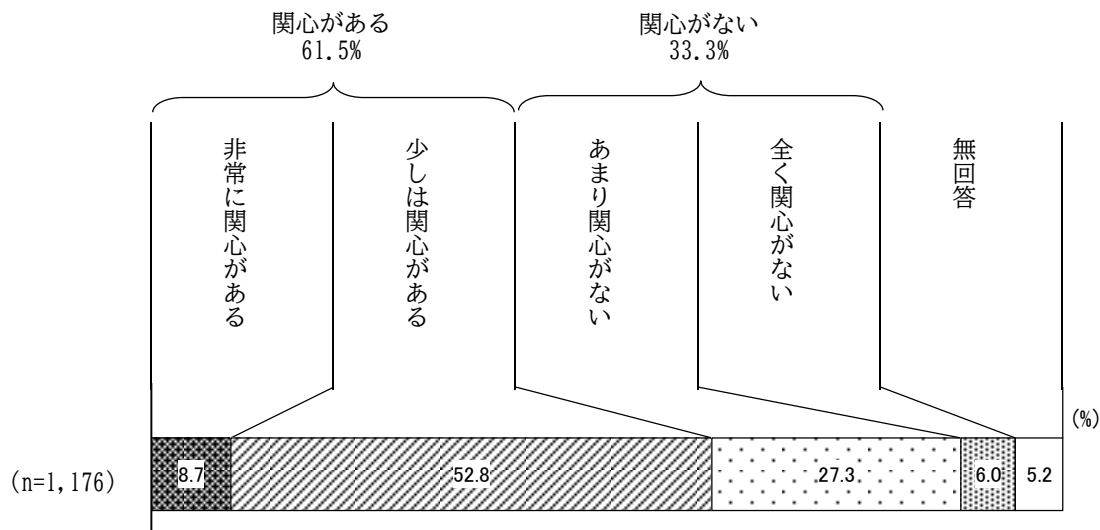
- ・以前、振込詐欺の電話が2回あり、警察に相談しました。その後、自動通話録音機を設置したので、安心して生活ができます。感謝しています。

18. 区政への関心と要望

18-1 区政への関心度

問47 あなたは区政に関心がありますか。(○は1つだけ)

図18-1-1

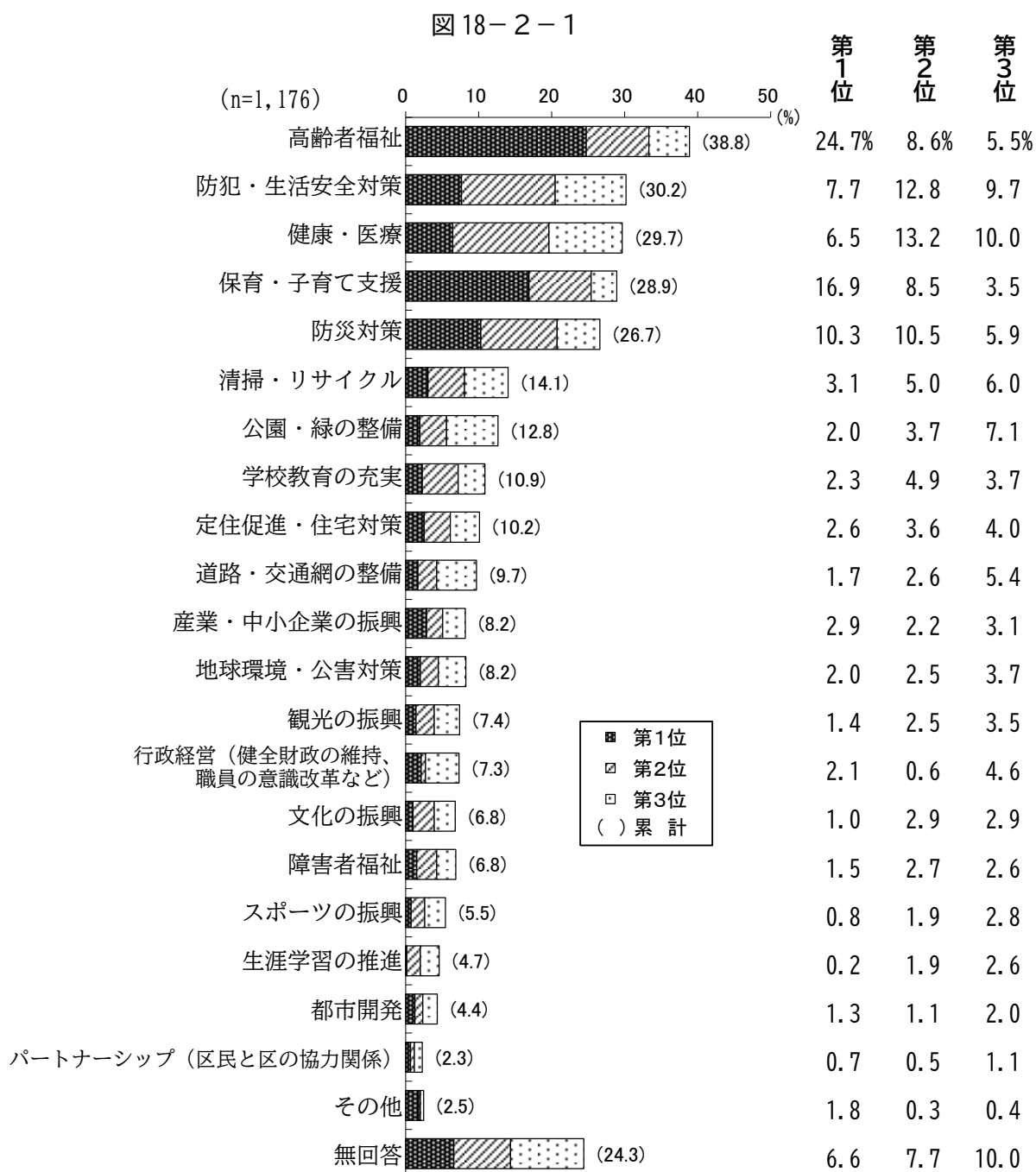


区政への関心度は、「少しは関心がある」(52.8%)と「非常に関心がある」(8.7%)を合わせた『関心がある』(61.5%)が6割を超えている。一方、「あまり関心がない」(27.3)と「全く関心がない」(6.0%)を合わせた『関心がない』(33.3%)は3割を超えている。(図18-1-1)

18-2 施策の要望

問 48 今後、区に力を入れてほしい施策はどんなことですか。

(次の中から3つまで選び、第1位・第2位・第3位と順位をつけて、下にある□の中に番号を記入してください。)



施策の要望は、第1位から第3位の総合で「高齢者福祉」（38.8%）が4割近くと最も多く、次いで「防犯・生活安全対策」（30.2%）、「健康・医療」（29.7%）、「保育・子育て支援」（28.9%）となっている。また、第1位には「高齢者福祉」（24.7%）、次いで「保育・子育て支援」（16.9%）、「防災対策」（10.3%）となっている。（図 18-2-1）

表18-2-2 施策の要望-推移(上位10位)

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
令和元年度	高齢者福祉 38.8	防犯・生活 安全対策 30.2	健康・医療 29.7	保育・子育て 支援 28.9	防災対策 26.7	清掃・ リサイクル 14.1	公園・緑の 整備 12.8	学校教育の 充実 10.9	定住促進・ 住宅対策 10.2	道路・交通 網の整備 9.7
平成29年度	高齢者福祉 38.9	防犯・生活 安全対策 31.7	保育・子育て支援 /健康・医療 31.4		防災対策 28.2	清掃・ リサイクル 14.3	公園・緑の 整備 13.4	学校教育の 充実 11.4	定住促進・ 住宅対策 10.9	道路・交通 網の整備 9.7
27年度	高齢者福祉 43.7	防犯・生活 安全対策 35.9	健康・医療 30.1	保育・子育て 支援 27.3	防災対策 24.4	公園・緑の 整備 13.5	清掃・ リサイクル 11.0	道路・交通 網の整備 9.6	学校教育の 充実 8.9	定住促進・ 住宅対策 8.8
25年度	高齢者福祉 40.3	防犯・生活 安全対策 30.9	健康・医療 30.2	保育・子育て 支援 29.1	防災対策 25.7	公園・緑の 整備 17.1	産業・中小 企業の振興 13.5	学校教育の 充実 13.1	定住促進・ 住宅対策 10.0	清掃・ リサイクル 9.7
23年度	高齢者福祉 41.5	保育・子育て支援 /健康・医療 29.6		防災対策 29.0	防犯・生活 安全対策 27.2	公園・緑の 整備 16.2	産業・中小 企業の振興 13.7	清掃・ リサイクル 12.1	学校教育の 充実 10.7	観光の振興 10.5
21年度	高齢者福祉 46.2	健康・医療 36.4	保育・子育て 支援 29.7	防犯・生活 安全対策 27.3	防災対策 15.8	定住促進・ 住宅対策 15.3	清掃・リサイクル /公園・緑の整備 14.3		地球環境・ 公害対策 12.6	産業・中小 企業の振興 12.2
19年度	高齢者福祉 52.5	健康・医療 31.7	防犯・生活 安全 31.1	保育・子育て 支援 23.6	防災 17.6	公園・緑の 整備 14.1	清掃・ リサイクル 13.8	地球環境・ 公害 13.2	定住促進・ 住宅 12.8	産業・中小 企業の振興 9.0
17年度	高齢者福祉 42.7	治安 31.8	防災 30.1	児童福祉・ 子育て支援 19.5	住宅 14.2	環境・公害 13.2	中小企業 10.9	保健・健康 10.8	清掃・ リサイクル 9.7	緑化推進 9.6
15年度	高齢者福祉 53.3	防災 21.6	清掃・ リサイクル 18.5	児童福祉 16.4	中小企業 16.2	緑化推進 15.0	保健・健康 14.7	住宅 13.6	環境・公害 13.2	障害者福祉 12.3
13年度	高齢者福祉 57.8	住宅 23.5	保健・健康 17.3	防災 17.1	清掃・ リサイクル 16.4	中小企業 15.9	障害者福祉 13.8	障害者福祉/緑化推進 13.4		定住促進 10.7
11年度	高齢者福祉 47.6	環境・公害 25.9	住宅 21.4	防災 19.1	中小企業 15.3	児童福祉 15.0	緑化推進 12.4	保健・健康 12.2	障害者福祉 11.9	定住促進 11.2
9年度	高齢者福祉 58.3	住宅 26.7	防災 22.0	環境・公害 19.9	保健・健康 17.4	緑化推進 15.3	消費者 14.6	中小企業 14.1	障害者福祉 12.3	定住促進 12.2
7年度	高齢者福祉 54.4	防災 33.5	住宅 32.1	環境・公害 23.3	中小企業 15.8	障害者福祉 15.1	緑化推進 13.7	保健・健康 12.8	消費者 12.1	地価抑制 11.4
6年度	高齢者福祉 54.2	住宅 32.7	環境・公害 24.0	中小企業/防災 14.7		消費者 14.4	障害者福祉/緑化推進 13.6		保健・健康 13.3	地価抑制 13.2
5年度	高齢者福祉 57.2	住宅 32.8	地価抑制 22.7	環境・公害 21.9	緑化推進 17.6	防災 17.4	保健・健康 17.0	消費者 13.2	交通網整備 11.6	中小企業 10.8
4年度	高齢者福祉 45.9	住宅 37.1	環境・公害 23.2	緑化推進 19.5	地価抑制 19.2	保健・健康 15.9	消費者 12.5	防災 12.1	中小企業 11.2	交通網整備 11.0
3年度	高齢者福祉 55.9	住宅 37.6	環境・公害 21.9	地価抑制 21.7	緑化推進 16.6	交通網整備 12.1	中小企業 11.4	消費者/道路整備 11.2		防災 11.0
2年度	老人福祉 49.0	住宅 37.2	地価抑制 27.2	保健・健康 16.9	防災 15.3	消費者/中小企業 14.6		緑化推進 14.3	公害 12.7	スポーツ 振興 12.1
(平成)元年度	老人福祉 46.7	住宅 32.1	地価抑制 24.3	消費者 24.2	保健・健康 20.2	緑化推進 14.6	中小企業 13.5	防災 12.6	都市再開発 12.2	青少年 11.5
昭和63年度	老人福祉 48.4	住宅 29.5	地価抑制 23.7	緑化推進 17.0	公園児童 遊園 14.3	中小企業 14.1	防災 13.9	保健・健康 13.4	都市再開発 12.0	消費者 10.9
62年度	老人福祉 42.9	住宅 27.8	地価抑制 23.2	中小企業 13.3	都市再開発 13.0	防災 11.2	消費者 11.1	緑化 10.5	児童福祉 10.2	保健・健康 9.8

施策の要望の推移をみると、昭和62年度から通して、「高齢者福祉」(平成2年度までは「老人福祉」)は第1位となっている。第10位までの上位項目は平成29年度調査と同じであり、「道路・交通網の整備」を除く全ての項目が減少している。(表18-2-2)

2. 区政サポーター制度 (平成31年4月現在・200名)

公募による区政サポーターにアンケートを実施し、区政への参加を図り、アンケート結果を区政運営に役立てることを目的として、平成19年度から実施しています。

時間の制約を受けずに幅広い年代の区民が参加できるように、郵便とEメールの二つの方法にて、4回のアンケートを行いました。

調査の結果は報告書にまとめ、区政情報コーナーや図書館等で閲覧することができるほか、台東区公式ホームページ「区民の声」で公開しています。

区政サポーターとは

資 格：公募による、区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便またはEメールで回答する。

任 期：2年（平成31年4月1日～令和3年3月31日）

区政サポーター属性

(年齢別)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	合計
8名	10名	28名	40名	33名	45名	24名	12名	200名

(地区・男女別)

地 区	竹 町	東上野	上 野	入 谷	金 杉	谷 中
男 性	0名	4名	9名	9名	12名	5名
女 性	8名	2名	2名	15名	14名	7名
計	8名	6名	11名	24名	26名	12名

地 区	浅草橋	浅草寿	雷 門	馬 道	清 川	合計
男 性	5名	15名	11名	13名	9名	92名
女 性	13名	13名	8名	14名	12名	108名
計	18名	28名	19名	27名	21名	200名

(1) 第1回アンケート調査

1. 調査項目

「花の心プロジェクトについて」

「環境について」

「区公式ホームページ・暮らしのしおりについて」

2. 調査概要

調査期間：令和元年5月8日～5月21日

調査方法：郵便による調査 67名

Eメールによる調査 125名

回収数：有効回収数 192名

有効回収率 96.0%

3. 調査結果の概要

【花の心プロジェクトについて】

今回の調査では、「花の心プロジェクト」について、約6割の方から「知っている」、「聞いたことがある」と回答していただきました。さらに、約7割の方がお住まい周辺の花壇やプランター等に「満足」または「ほぼ満足」と回答しているほか、7割を超える方から「花の心プロジェクト」の取り組みに「参加したい」、「できる範囲で参加したい」と回答していただきました。これらの調査結果から、「花の心プロジェクト」の認知度も高まっていると感じています。また、「花の心プロジェクト」の取り組みに参加したい人が多いこともわかりました。

今回いただいた貴重なご意見やご提案を参考に、今後も本プロジェクトの推進を図ってまいります。

(環境清掃部 環境課)

【環境について】

現在、私たちが抱える環境問題は、地球規模から身近な家庭での問題まで非常に幅広く多岐にわたっています。台東区では、平成28年に「台東区環境基本計画」を改定し、①自然環境②地球温暖化対策・ヒートアイランド対策③環境教育・学習の3つの基本目標を中心に、環境問題への取り組みを推進しています。

今回の調査では、区の環境施策について、区民の方がどのようなことに関心があり、どのようなことを取り組んでいるか等について伺いました。その結果、たばこなどのポイ捨て防止対策やごみ・3R対策、緑化促進に関心があることがわかりました。また、公共交通機関・自転車の利用や、電気・ガス使用量の削減などを、積極的に取り組んでいただけているという状況がわかりました。

この調査結果は、新たに策定していく「台東区環境基本計画」や、誰もが住みよい快適で潤いのある都市環境を創出していくための貴重な資料として、活用してまいります。

※令和2年3月に策定した「台東区環境基本計画」の検討資料として活用しました。

(環境清掃部 環境課)

【区公式ホームページ・暮らしのしおりについて】

今回の調査では、区公式ホームページのレイアウトやデザインについて、約半数の方から「良い」と回答していただきました。一方で、約3割の方が「知りたい情報を探す際は『Yahoo!』等外部の検索サイトから探す」と回答されており、ホームページのサイト構成の工夫や改善が必要であると感じました。

調査結果を踏まえ、必要な情報をよりスムーズに得られるホームページ作りに努めてまいります。

暮らしのしおりについては、約3割の方が「使わない」と回答しており、その理由として、約8割の方が「区公式ホームページ等のインターネットで検索したほうが早い」と回答されました。また、全戸配布をする場合の頻度としては、5割を超える方が「毎年」または「2年に1度」と回答している一方で、1割強の方は「配布の必要はない」と回答されました。

いただいたご意見を参考に、配布対象や発行頻度について検討してまいります。

※令和2年12月に予定する区公式ホームページリニューアルの検討資料として活用しました。

(総務部 広報課)

(2) 第2回アンケート調査

1. 調査項目

- 「図書館について」
- 「観光振興について」
- 「交通施策について」

2. 調査概要

調査期間：令和元年7月18日～7月31日

調査方法：郵便による調査 66名

Eメールによる調査 122名

回収数：有効回収数 188名

有効回収率 94.0%

3. 調査結果の概要

【図書館について】

今回の調査では、図書館での電子機器の使用について、約9割の方が「問題ない」、「静かに使用するならかまわない」と回答されており、大半の方が肯定的であることが分かりました。

また、台東区の歴史・伝統文化などをテーマとした企画展について、知っている方は全体の約3割であることから、今後さらなる周知が必要であることが分かりました。

今回いただいたご意見を参考に、より多くの皆様に快適に図書館をご利用いただけるよう取り組んでまいります。

(教育委員会 中央図書館)

【観光振興について】

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、本区には国内にとどまらず、海外からも多くの観光客が訪れることが予想されます。これを、本区が国際文化観光都市として大きく飛躍するチャンスと捉えて、インバウンド施策をはじめとした観光施策を推進していくことが重要です。

今回の調査では、約8割の方が、観光客の増加に対して好意的に受け止めているとの結果が得られました。一方、観光客の増加について区民の方が心配されている点としては、「ごみが増える」、「治安が悪くなる」などであることがわかりました。

今回の調査結果を参考に、区民の皆様の安全・安心のための取り組みも含めた総合的な観光施策を、引き続き展開してまいります。

(文化観光産業部 観光課)

【交通施策について】

今回の調査では、区内の交通環境や交通利便性について、7割以上の方がよいイメージを持っていることが分かりました。

自転車の交通ルールでは、約3割の方が「知っているが交通ルールをあまり守れていない」、「詳しく知らなかった」と回答し、約2割の方が自転車向けの保険に加入していないことも分かりました。

また、自転車走行空間の整備や「めぐりん」の利便性向上に関する意見も多く、区民の交通安全意識の醸成とともに、交通基盤のさらなる整備が必要であると感じました。

今後も、今回いただいたご意見を参考に、安全・安心で快適な交通環境の構築に向け、地域の特性や移手段に応じた交通施策をさらに展開してまいります。

(都市づくり部 交通対策課)

(3) 第3回アンケート調査

1. 調査項目

「多文化共生について」

「消費生活センター及び区民相談室の相談業務について」

「住宅の耐震化について」

2. 調査概要

調査期間：令和元年11月1日～11月14日

調査方法：郵便による調査 67名

Eメールによる調査 121名

回収数：有効回収数 188名

有効回収率 94.0%

3. 調査結果の概要

【多文化共生について】

今回の調査では、約7割の方が地域で暮らしている外国人が「多い」、「どちらかといえば多い」と回答しています。一方で、約6割以上の方が、地域に暮らしている外国人と直接触れ合う機会が「全くない」、「ほとんどない」と回答しており、地域の日本人と外国人が直接交流し、理解し合える環境の更なる整備が必要であることがわかりました。

今回の調査結果を参考に、在住外国人との交流事業や「やさしい日本語」の普及・啓発等を図るとともに、多文化共生のまちづくりに努めてまいります。

(区民部 区民課)

【消費生活センター及び区民相談室の相談業務について】

今回の調査では、消費生活センターの名前を知っていると回答された方が約8割、区民相談室を知っていると回答された方が約4割となりました。

どちらの窓口においても、半数以上の方が利用したいと思っていることがわかりました。また、利用したいと思わない方の主な理由としては、「どのような相談ができるかわからない」、「平日は相談に行くこと（電話すること）ができない」が多数を占めていました。

調査結果を踏まえ、消費生活センター及び区民相談室で相談できる内容や利用方法をわかりやすく周知し、区民の方が気軽に利用できる窓口となるよう努めてまいります。

(区民部 ぐらしの相談課)

【住宅の耐震化について】

今回の調査では、8割以上の方が「住宅の耐震化は必要」と感じており、半数以上の方が耐震改修工事を既の実施した、または、実施したいとの考えをお持ちであることがわかりました。

耐震改修工事実施への課題として「工事費用の負担が大きい」と回答された方が最も多い一方で、区の耐震化助成制度を「知っている」と回答された方が約5割にとどまっており、助成制度について、今後更に周知していくことが必要であることがわかりました。

また、耐震化を促進していくための取り組みとして、助成制度以外にも、「信頼できる専門家等の紹介」や「相談体制の充実」などの環境の整備が重要であると、多くの方が回答されました。

今回の調査結果を参考に、今後も住宅の耐震化促進に向けた施策を展開し、区民の皆様が安全で安心して住める災害に強いまちづくりを推進してまいります。

(都市づくり部 建築課)

(4) 第4回アンケート調査

1. 調査項目

「台東区循環バス『めぐりん』について」

「キャッシュレス決済について」

「災害対策について」

2. 調査概要

調査期間：令和2年1月10日～1月23日

調査方法：郵便による調査 68名

Eメールによる調査 119名

回収数：有効回収数 187名

有効回収率 93.5%

3. 調査結果の概要

【台東区循環バス『めぐりん』について】

今回の調査では、「めぐりん」の実証実験を通じた運行ネットワークの整備により、7割以上の方が区内の交通利便性が向上したと感じており、取り組みの成果が出ていると感じています。一方で、車体の行き先表示や路線図のどちらもわかりやすいと感じている方は約2割となりました。

また、インターネットで車両の現在地をリアルタイムに確認できるサービスについて、便利だと感じている意見があるなか、利用したことのない意見もまだあるため、情報発信の見直しと更なる強化が必要であることがわかりました。

今後も、いただいたご意見を参考に、多くの区民や来街者にご利用いただけるよう、安全・安心で快適な「めぐりん」を目指した取り組みを、さらに展開してまいります。

(都市づくり部 交通対策課)

【キャッシュレス決済について】

今回の調査では、約9割の方が日々の生活の中で、クレジットカードや電子マネーなどの現金以外の決済方法を利用していると回答しています。その中でも、現在利用している、又は、今後利用してみたい決済方法としては、クレジットカードやICカードの電子マネーの割合が高くなっています。

一方で、キャッシュレス決済を利用しない理由では、現金の方が使いやすい、クレジットカードやスマートフォンの紛失や盗難、個人情報の漏洩が心配などの理由が多く挙げられていることがわかりました。

今回の調査結果を参考に、企業側の生産性向上、及び、消費者の利便性の向上につながるよう、キャッシュレスの推進に努めてまいります。

(文化産業観光部 産業振興課)

【災害対策について】

東日本大震災発生から間もなく9年が経過する中、地震だけではなく、西日本豪雨災害や大型台風などの自然災害が、全国各地で発生しています。

今回の調査では、約6割の方が災害に備えて食糧等を備蓄していたり、避難所等の確認をしていることがわかりました。また、水害ハザードマップ等で自宅が浸水域に含まれているかを知っている方が7割を超えています。

一方で、区が配信する「たいとう気象情報メール」やスマートフォンアプリ「台東防災」について、約5割の方が、知らないし登録もしていないと回答しており、さらなる周知が必要であることがわかりました。

今回いただいたご意見を参考に、今後も効果的な災害対策事業を実施してまいります。

(危機管理室 危機・災害対策課)

令和元年度
広聴一年（区民の声）

発行・編集 令和2年8月
台東区 総務部 広報課
令和2年度登録第25号